



特定非営利活動法人ヒマラヤ保全協会

2012 年度 活動報告 & 2013 年度 活動計画

ヒマラヤ植樹目標 100 万本達成まであと 1 歩！皆様のご協力とご支援をお願い致します。



森に植える苗木をカゴに入れる村人たち（サリジャ村）

ヒマラヤ保全協会とは：世界の屋根・ヒマラヤの大自然を未来へつなぐ国際環境 NGO。ヒマラヤ保全協会（IHC：The Institute for Himalayan Conservation）は、ネパール・ヒマラヤにおいて、地域住民が主体になった植林事業に取り組んでいる国際環境 NGO です。これまでに、ヒマラヤ山麓にのべ約 91 万本の植樹をしてきました（2013 年 7 月現在）。

1. 2012 年度活動報告

1.1. 生活林づくりプロジェクト –5 万 5 千本の植樹を達成！-

2012 年度は、合計 53,833 本の苗木を育成、植樹をおこないました（2013 年 7 月集計）。その後活着しなかった苗を植え直し、苗木育成本数の累計は約 91 万本に達しました。事業地は、ダウラギリ地方（サリジャ村・ドバ村・ベガコーラ村・ダグナム村・ジーン村・バランジャ村）、ソルクーンブ地域（ジュビン地区カリコーラ村）でした。

1.2. ダウラギリ・プロジェクト

ダウラギリ・プロジェクト（5 年間計画）の 2 年目となった 2012 年度は、山村住民の生活を改善させるための「生活改善プロジェクト」として、ダグナム村とジーン村にトレイルの建設をしました。これにより、土砂崩れなどの危険のあった道を歩いていた山村住民の安全と、薪の運搬等で労力をしいられていた女性や子どもたちの生活

が、改善されました。他にドバ村には生活改善のためのトレーニングなどを受けられるコミュニティセンターが作られました。また、植林によって得られる森林資源を有効利用する織物事業、紙漉き事業の設備や研修など、プロジェクトの基盤づくりに力を入れました。



*ヒマラヤ保全協会は、「生活林」づくりプロジェクトをすすめています。「生活林」とは、日本でいう里山に相当する林です。ヒマラヤ山麓に木を植える、「生活林」(サトヤマ)をつくることができます。これにより、第1にヒマラヤの自然環境を保全する事ができます。第2に地域住民の生活を改善することができます。こうして、自然環境と人間の共生をめざします。



ヒマラヤ保全協会活動事業地



苗畑管理人の手によって元気な苗が育苗される

2. 2013 年度活動計画

2.1. 生活林づくり：目標 6 万本の植樹



今年度は、約6万本の植樹を目標にします。植林地域は、ダウラギリ地方(サリジャ村・ドバ村・ベガコーラ村・ダグナム村・ジーン村・バランジャ村)、ソルクンブ地域ジュビン地区カリコーラ村です。

2013 年度からは、ヒマラヤ山麓の独特の生態系や生物多様性を特に念頭におき、樹種の選択をします。具体的には、その森に原生する、全ての樹種から種を集めるよう務め、村にこれまであった生態系のバランスを考慮し育苗します。その他に、昨年度開催した、第2回苗畑管理人交流勉強会で学びあったヒマラヤ山麓の気候と土壌にあった経験知を6つの事業地でシェアし、育苗に反映させていきます。また、2014 年度には生活林の植樹 100 万本達成をめざしています。

地域		活動項目	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
アンナブルナ	ナルチャン村 サリジャ村	苗畑拡充							
		苗畑維持・管理							
		植樹＆本数	20,000	30,000	20,000	6,000	5,000	5,000	5,000
ダウラギリ	ドバ村 ベガ村	事前調査							
		苗畑建設							
		苗畑拡充							
		苗畑維持・管理							
		植樹＆本数			20,000	14,000	15,000	20,000	20,000
	ダグナム村 ジーン村 バランジャ村	事前調査							
		苗畑建設							
		苗畑拡充							
		苗畑維持・管理							
		植樹＆本数				15,000	20,000	20,000	25,000
ソルクンブ (エベレスト)	カリコーラ村	事前調査							
		苗畑建設							
		苗畑拡充							
		苗畑維持・管理							
		植樹＆本数				20,000	20,000	20,000	20,000
植樹本数合計			20,000	30,000	40,000	55,000	60,000	65,000	70,000
植樹本数累計			730,000	760,000	800,000	855,000	915,000	980,000	1,050,000

現在 7 村に渡って推進している植林活動では毎年目標値を定めて植樹しています。

2.2. ダウラギリ・プロジェクト

5 年間計画の 3 年目になるダウラギリ・プロジェクト事業地 6 村では、「生活林」づくりを通じた住民の「生活改善」と、収穫された森林資源を有効活用した住民の「生活向上」を目的とする取り組みをしています。特に 2013 年度は生活向上プロジェクトに力をいれていきます。

◆「生活向上プロジェクト」

生活向上プログラムでは、現在、植林事業によって収穫された森林資源を有効活用する取り組みとして、ヒマラヤイラクサを利用した織物事業と、ジンチョウゲ科の植物(ネパール名：ロクタ)を利用したネパール紙漉き事業を推進しています。

・ ヒマラヤ イラクサ織物プロジェクト

昨年度まで、技術の向上、品質の向上指導に力を入れていましたが、品質がようやく安定してきた今年度は、近隣の観光地や、首都の市場に積極的に踏み込み、マーケティングを行う等、新しい取り組みに挑戦します。

・ ネパール紙漉きプロジェクト

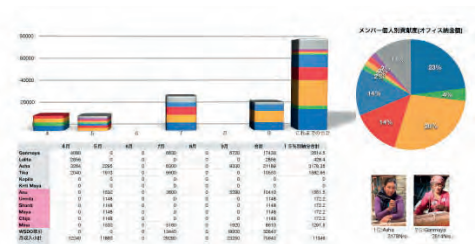
ジンチョウゲ科の植物(ネパール名：ロクタ)からつくる紙漉きプロジェクトも昨年度までは、技術面での指導に力が入っていましたが、今年度からは、更なる品質の向上と市場獲得のための取り組みに力を入れていきます。

2つの事業は共に、人手が足りない、物資が足りない、資金が足りないなどの沢山の問題を解決しながらすすめていかなくてはならず、苦戦しています。しかし事業に取り組んでいる村人(特に女性達)は、自分たちの手で初めて現金収入を得、家族の医療費やこどもの養育費、そして自分の洋服を買えるなどの喜びを感じはじめています。植林事業を基盤とした生活向上プロジェクトを今後も推進してまいります。

活動イメージ図



織物事業と紙漉き事業の製品の売上金は持続可能な山村住民の生活向上のための事業費となります。これまで女性たちが手にした現金収入はデータとしてもみれるよう管理し、今後の活動方針づくりや計画見直しのために役立てています。



謝 辞

皆様のご支援、ありがとうございました

2012年度は、ネパール・ヒマラヤに5万5000本の植樹をすることができました。ヒマラヤ環境保全活動の推進とともに、地域住民の方々の生活改善に貢献して下さったサポーターの皆様の厚意に、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

特定非営利活動法人ヒマラヤ保全協会 2012年度報告&2013年度計画

2013年11月22日発行

編集・発行所 特定非営利活動法人ヒマラヤ保全協会

〒151-0053 東京都渋谷区代々木3-5-7 シグマロイヤルハイツ 403

Tel/Fax:03-5350-8458 e-mail: ihcjpn@ybb.ne.jp <http://www.ihc-japan.org>